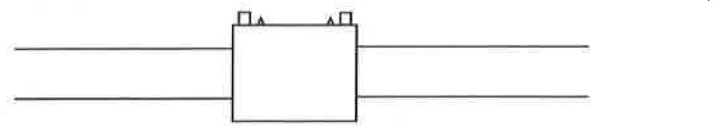


EF接合チェックシート

工事番号	平成 年度 第 号	工事名								
呼び径	φ mm									
発電機の仕様:					コントローラの仕様:					
正常作動確認:					正常作動確認:					
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 施工方向 → </div> 										
継手No.										
略図										
天 候										
陸継ぎの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
曲げ施工の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
湧水の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
管の点検・清掃										
※スクレープ										
※エタノール(アセトン)清掃										
標線の確認										
※通電終了時刻	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
※インジケータの確認										
※クランプ取外し時刻	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
メカ継手のみ	インコア取付									
	ボルト締付確認									
接合総合判定										
備考:メカニカル接合時※印項目は記入不要										
施工年月日			継手施工者				現場代理人			
年 月 日										

EF接合チェックシート参考資料

○継手管理

EF継手の接合が確実に行われたことをチェックシートに記録すること。
一日の作業が終了してから記入するのではなく、接合完了時に記入すること。
EF接合チェックシートは現場作業開始までに準備すること。

(1) EF接合チェックシート記入項目の例

- ・ 発電機類 : 発電機の仕様、ならびに、正常作動確認(燃料が十分あるか、電圧が100V近辺で安定しているか、異音が発生していないか等)を行ない、異常のない場合は、○とします。
- ・ コントローラ : コントローラの仕様、ならびに、正常作動確認(損傷がないか、漏電ブレーカーが作動するか、正常な表示がでるか等)を行ない、異常のない場合は、○とします。
- ・ 略図 : 略記号を記入します。
- ・ 天候 : 作業時の天候を記入します。
- ・ 陸継ぎの有無 : 陸継ぎの有無について、どちらかに○と記入します。
- ・ 曲げ施工の有無 : 曲げ施工の有無について、どちらかに○と記入します。
- ・ 湧水の有無 : 湧水の有無について、どちらかに○と記入します。
- ・ 管表面の点検・清掃 : 管の点検・清掃を行ない、異常のない場合は、○と記入します。
- ・ スクレープ : 正しい作業手順で行われた場合は、○と記入します。
- ・ エタノール(アセトン)清掃 : 正しい作業手順で行われた場合は、○と記入します。
- ・ 標線の確認 : 正しい作業手順で行われた場合は、○と記入します。
- ・ インジケータの確認 : 隆起の確認後、○と記入します。
- ・ クランプ取り外し時刻 : 融着終了時刻に規定の冷却時間をプラスした時刻を記入します。
- ・ インコア取付の確認 : インコアの取付確認後、○と記入します。
- ・ ボルト締付の確認 : ボルトの締付確認後、○と記入します。
- ・ 接合総合判定 : 全ての基本に基づいた施工を行なっていることを確認し、○と記入する。

記入のポイント

- ※ 口径が複数ある場合は、種類毎にチェックシートを準備します。
- ※ 総合判定欄には○と記入できるよう、基本に基づいた施工を行なうこと。
もしも、○と記入できない接合になった場合は、ためらわず接合部を切断しやり直すこと。
- ※ 施工場所が毎日変わる場合には、配管図に接合順序を記入し、後日接合位置がわかるようにすること。

14. 水圧試験

- (1) 管内に充水後、水圧試験を行い0.74Mpa~0.98 Mpaの水圧を加えて15分間そのままの水圧を保ち、漏水の確認を行うこと。なお、通常は0.74Mpa(低圧区域)とするが、高圧区域(常圧0.60Mpa以上)については、0.98Mpaとする。但し、上記の水圧が不適当な場合、水圧試験が実施できない、または試験水圧が保持できない場合等は、改めて監督職員の指示を受けなければならない。
- (2) 水道配水用ポリエチレン管の水圧試験は、EF接合完了後、20分以上経過してから開始すること。水圧試験は1試験で500mまでの区間とする。水圧試験は管内の水圧を0.98Mpaまで上昇させ、5分間放置後、再度0.98Mpaまで上昇させ、0.74Mpaまで下げて1時間後の水圧を確認する。0.59Mpa以上の場合は合格(漏水なし)とする。0.59Mpa未満の場合は、24時間後0.44Mpa以上あるか否かを確認し、0.44Mpa以上の場合は合格(漏水なし)。0.44Mpa未満の場合は不合格(漏水あり)となり、直ちに原因を究明、手直しを行い、再試験を実施すること。
- (3) 水圧試験を実施する時は、原則として監督職員の立会いを求めなければならない。
- (4) 水圧試験結果は、別に定める水圧試験報告書を作成し、監督職員に提出しなければならない。
- (5) 水圧試験完了後は管内水を採水し、規定の残留塩素の検出を確認しなければならない。

15. 防食テープ巻工

- (1) 鋼面はワイヤブラシ等で浮き錆をこすり落とし、その他の付着物を十分に除去し、清掃しなければならない。
- (2) フランジ部または溶接部の凹凸のある部分は防食マスチック等で埋め、テープの巻き付けやすいように仕上げなければならない。
- (3) テープは少し引っ張り加減で1/2回重ね巻きとすること。
- (4) 巻き終わった後、鋼面へのなじみをよくするため、テープ表面のラップ部分がわからなくなるまで十分になでつけること。

16. 防食ビニルテープ巻工

テープは1/2回重ね巻きとすること。

17. 工事施工により生じた管、弁類等の現場発生品(撤去品)については、適正に処理をすること。

第6条(水管橋塗装(塗替え))

1. 使用塗装色(日本塗料工業会)年度記号○は発行年度により変更

- (1) 下塗り (さび色)
- (2) 中塗り 配管、歩廊、手摺 (○65-80A)
橋台、橋脚 (○19-90F)
- (3) 上塗り 配管、歩廊、手摺 (○65-90D)
橋台、橋脚 (○19-85L)

2. 塗装仕様(工程)

- (1) 素地調整 ケレン種別は設計図書によるものとする。
- (2) 下塗り(4回塗り) 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗
- (3) 中塗り(1回塗り) 弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料用中塗
- (4) 上塗り(1回塗り) 弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗